

2006 年度

| | | |
|--|--|---|
| <p>科目名</p> <p style="text-align: center;">コミュニティ研究演習</p> | <p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部コミ3回生</p> | <p>担当者</p> <p style="text-align: center;">安田 正純</p> |
| <p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">現場実習におけるマネジメントとフィードバック</p> | | |
| <p>授業の概要と目標</p> <p>現代社会の中で生活を営む様々な場面において、我々は常に健康維持や豊かな生活環境、或いは集団社会での生活のあり方に問題を感じる。このことからその問題解決への手段として、自らが活動参加することにより現場での個々の有り方、実践を通しての現場における問題点解決策への取り組み方等を学習することから、以後の学習課題への進め方、あり方を検討する。そこで、本研究演習ではゼミナールⅠでの学習を基礎知識として、実際の活動現場における参加者側と提供者側の目的・方法・内容の事前学習を行う。さらに、これらのことから得た結果を、活動現場へフィードバックし、参加者や提供者の目的・方法・内容の向上に役立てる。また、学生個々の今後の研究課題への取り組みや卒業研究完結に役立てる。</p> | | |
| <p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">実習現場評価+積極的研究態度+レポートでの総合評価</p> | | |
| <p>テキスト</p> | <p>著者</p> | <p>出版社</p> |
| <p>参考書</p> | <p>著者</p> | <p>出版社</p> |
| <p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容のオリエンテーション 2. 実習先選択とその目的、 3. 実習先選択、依頼方法、実習期間 4. 実習先の確認 5. 現場実習 (80時間) <ol style="list-style-type: none"> ① 活動現場における参加者側、提供者側の目的、内容、方法を活動現場へ参加し、実践活動の実習体験を通して学習する。 ② この体験学習から課題を提起し分析検討する。 ③ その結果を活動現場へフィードバックする繰り返しの展開。 6. 体験学習の問題提起からフィードバックまでの過程のまとめと報告 7. 今後の研究課題、卒業研究完結への取り組み計画の作成 8. まとめ、実習報告書の提出、内容確認 | | |